

製品名: ベータアレスチン 1 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86403

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から 12 ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:50 kDa; Observed MW:50 kDa

抗原情報

遺伝子名	beta Arrestin 1
別名	ARB1; ARR1
遺伝子 ID	408
SwissProt ID	P49407
免疫原	ヒトβアレスチン1の合成ペプチド

背景

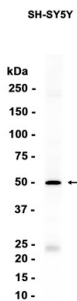
アレスチン/β-アレスチンタンパク質ファミリーのメンバーは、Gタンパク質共役受容体のアゴニストを介した脱感作に関与し、ホル

モン、神経伝達物質、感覚信号などの刺激に対する細胞応答を特異的に抑制すると考えられています。アレスチン $\beta 1$ は細胞質タンパク質であり、 β アドレナリン受容体キナーゼ (BARK) を介した β アドレナリン受容体の脱感作における補因子として機能します。中枢神経系に加えて、末梢白血球にも高レベルで発現していることから、BARK/ β -アレスチン系は受容体を介した免疫機能の調節において重要な役割を果たすと考えられています。アレスチン $\beta 1$ の異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写産物が報告されています。[RefSeq 提供、2011 年 1 月]

研究分野

-

画像データ



SH-SY5Y 細胞抽出物をベータアレスチン 1 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でウエスタンブロット分析しました。